令和元年度　関東東海北陸農業試験研究推進会議

土壌肥料部会　秋季研究会　開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議　土壌肥料部会長

中央農業研究センター 土壌肥料研究領域長　　大谷　卓

１．趣旨

2019年3月、国・都道府県・農研機構が保有する土壌データの収集、生産現場での土壌診断結果の共有・利用、土壌管理・施肥管理のスマート化を目指した「土づくりコンソーシアム」が発足した。この動きと連携して科学的データに基づく「土づくり」に関する技術開発を加速するため、農研機構と都道府県公設試を核とする新たな研究開発プラットフォーム（「データ駆動型土壌診断システム開発」研究コンソーシアム（仮称））の設立に向けた準備を進めている。

そこで、関東東海北陸地域における土壌データ利用に関する研究の取り組み状況を紹介し、今後の土壌データの高度活用に向けた研究の方向性、解決すべき課題、およびシステム開発に向けた取組み方策について検討する。また、群馬県における土壌肥料に関する企業・公的機関の研究開発状況を視察し、「土づくり」に関する試験研究の開発に資する。

２．開催日時　　令和元年10月3日（木）13：00　～　4日（金）12：30

３．開催場所

　研究会 （１日目）

　　　群馬県市町村会館　大研修室　（群馬県前橋市元総社町335-8）

　現地検討会（２日目）

　　　群馬県農業技術センター（伊勢崎市西小保方町493）

　　　JA東日本くみあい飼料大間々工場（みどり市大間々町大間々1661）

JA全農広域土壌診断センター群馬（みどり市大間々町大間々1661）

カネコ種苗くにさだ育種農場（伊勢崎市市場町2-1211）

４．共 催　　関東東海土壌肥料技術連絡協議会

５．検討事項

　「土壌データの高度活用による次世代型土壌診断システムの構築に向けて」

１）「データ駆動型土壌診断システム開発」研究コンソーシアムについて

農研機構・農業環境変動研究センター 小原　洋

２）土壌インベントリー（e-土壌図II）が目指す土壌情報の発信

農研機構・農業環境変動研究センター　 高田　裕介

３）群馬県における土壌データの活用について

群馬県農業技術センター**・**環境部 鹿沼　信行

４）神奈川県における土壌データの活用について

神奈川県農業技術センター・生産環境部　 上山　紀代美

５）愛知県における土壌データの活用について

愛知県農業総合試験場・環境基盤研究部 瀧　勝俊

６）新潟県における土壌データの活用について

新潟県農業総合研究所・基盤研究部　 本間　利光

７）総合討議

　※　演者・演題は予定

６．参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、農研機構、その他部会長が認めるもの

７．連絡先

農研機構中央農業研究センター 土壌肥料研究領域 土壌生物グループ 大友　量

(TEL：029-838-8828、E-mail：rotm@affrc.go.jp)

群馬県農業技術センター 環境部 環境安全係　　齋藤　祐一

　 （TEL：0270-62-1021、E-mail：saito-yuichi@pref.gunma.lg.jp）

８．その他

参加申込み等については、群馬県農業技術センターより別途連絡する。